

（２）路線バス及び高速バス

町役場等の公共公益施設が位置する長南地区では、路線バスの茂 28、30、31、32、45 系統と巡回バスが同じ道路を通行しているので乗り継ぎ可能である。また、路線バスの茂 41、茂 34、茂 35、36 系統も、一部の箇所では巡回バスと同じ道路を通行しているので、乗り継ぎ可能である。

また、茂原駅～羽田空港・横浜駅及び東京駅・東雲車庫間の高速バスのバス停が、長南駐車場に設置されている。

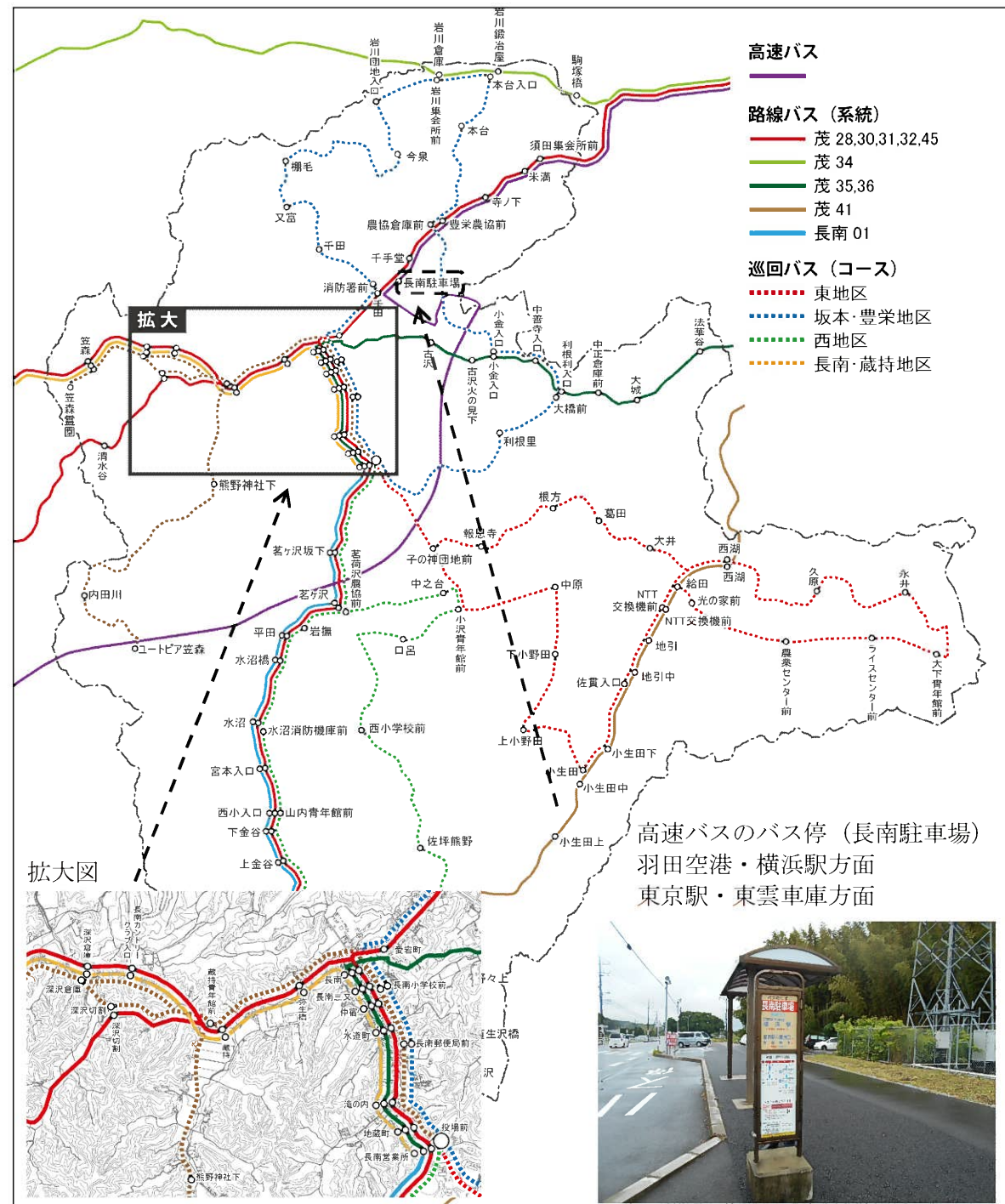


図 3-6-5 路線バス及び高速バスの経路図

（３）バス停勢圏

バス停勢圏は「都市構造の評価に関するハンドブック」（平成 26 年 国土交通省都市局都市計画課）より 300m とし、バス停勢圏に位置する人口の総人口に対する割合（カバー率）を算出すると、60%となる。

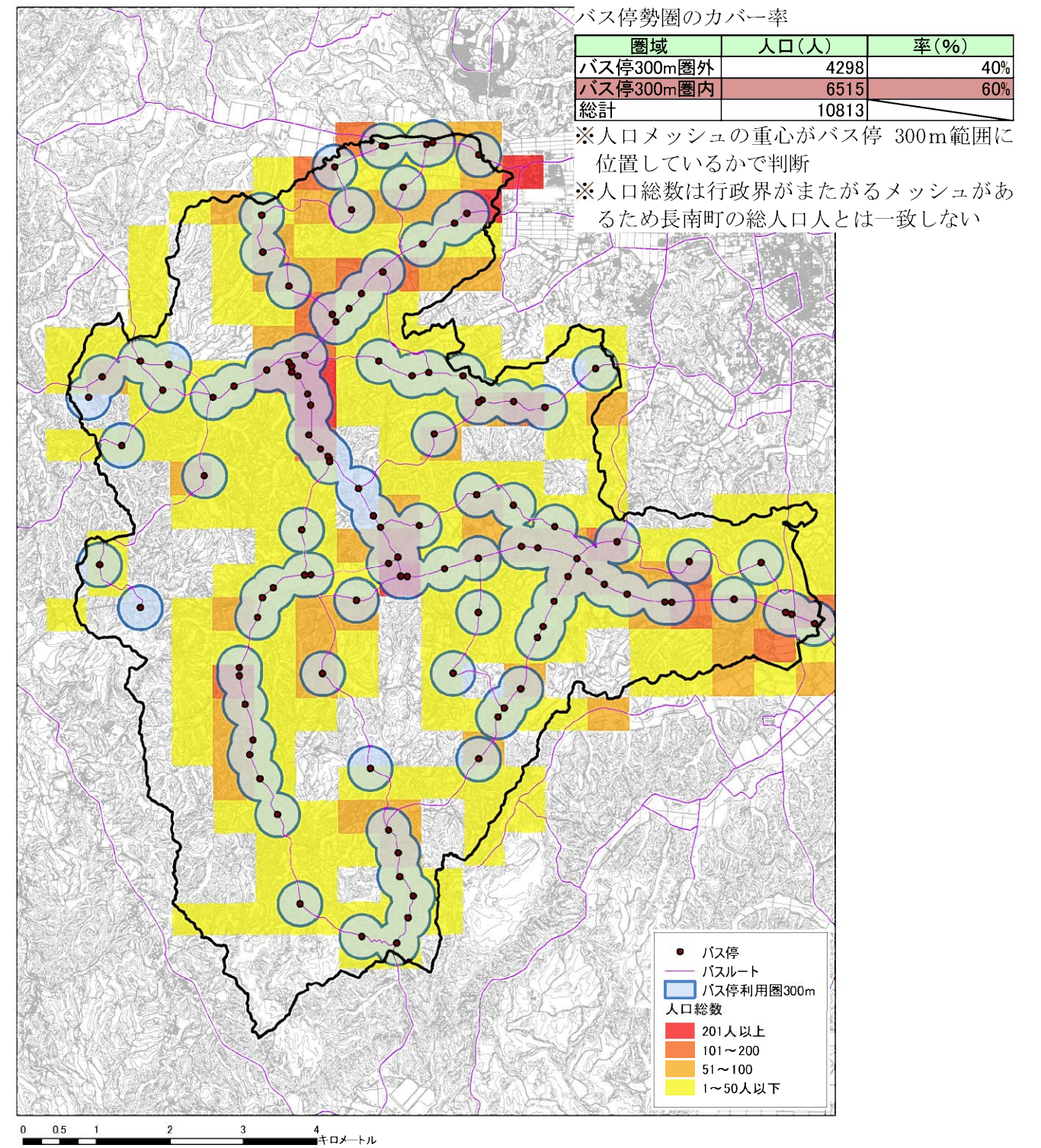


図 3-6-6 バス停勢圏と人口メッシュ図

(4) 乗合タクシー

①運行概要

高齢者や身体に障害をお持ちの方の移動を補助する交通システムで、町内を「ドア to ドア」で移動することが可能である。以下に運行の概要を示す。

表 3-6-2 運行概要

項目	内 容
運行経緯	・平成24年1月10日 実証実験開始 ・平成24年10月1日 本格運行
運行区域	・長南町全域
運行時間帯	・平日の8時30分～16時00分
乗車料金	・片道1人 500円 ペア割1人300円 ※ペア割は平成24年8月1日より開始
利用できる方	・町在住の65歳以上の方 ・身体障害者手帳（1級～3級）の交付を受けている方
利用方法	・利用したい日の5日前から当日の1時間前までに予約
運行事業者	・2事業者（(有)長南タクシー、ゆたか自動車(株)）

②利用者数と登録者数の推移

運行開始以降、利用者数及び登録者数とも増加している。利用者数は平成27年度で8,329人、登録者数は平成28年3月現在で768人となっている。

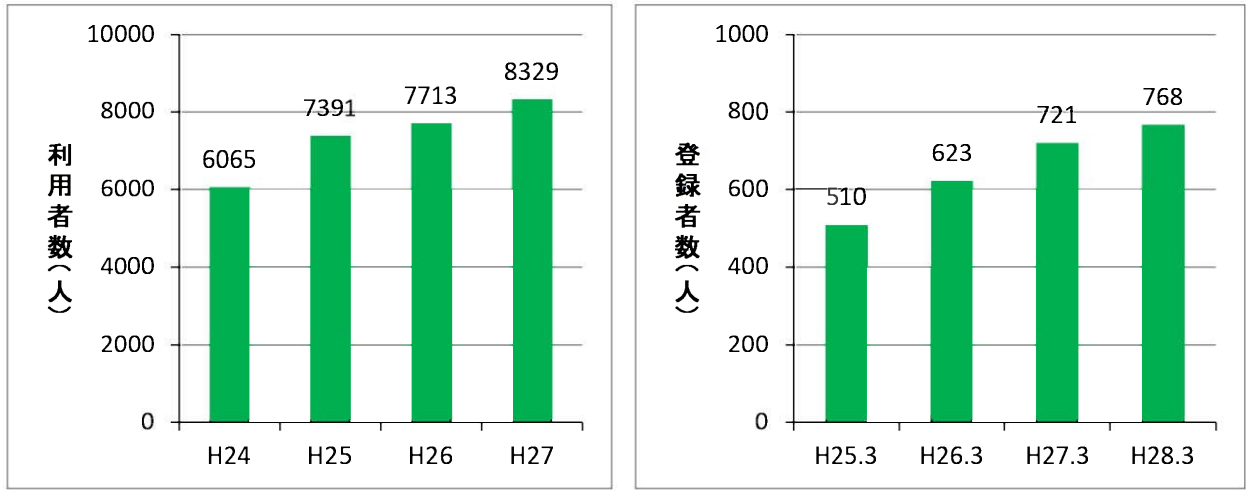


図 3-6-5 利用者数と登録者数の推移

③利用者の特性

・男女別

女性が男性よりも多く、平成27年度で女性が6,695人、男性が1,634人である。なお、構成率で見ると、男性の占める割合が、平成24年度で15%、平成27年度で20%と増加傾向にある。

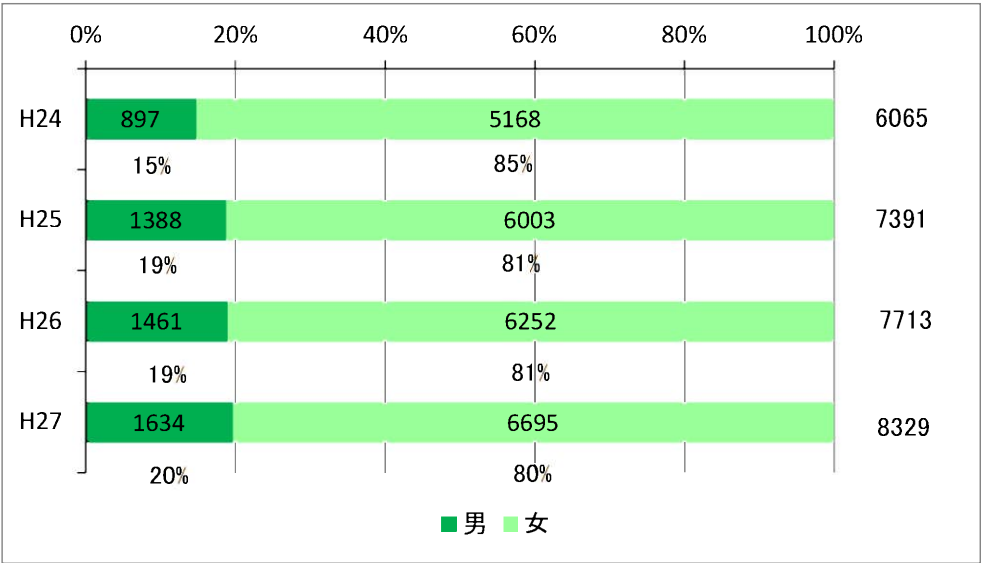


図 3-6-6 利用者数の男女の構成

・地区別

長南地区が最も多く、平成27年度で4,748人と全体の57%を占めている。構成率の経年推移をみると、長南地区と豊栄地区は増加、東地区は若干増加、西地区は減少となっている。

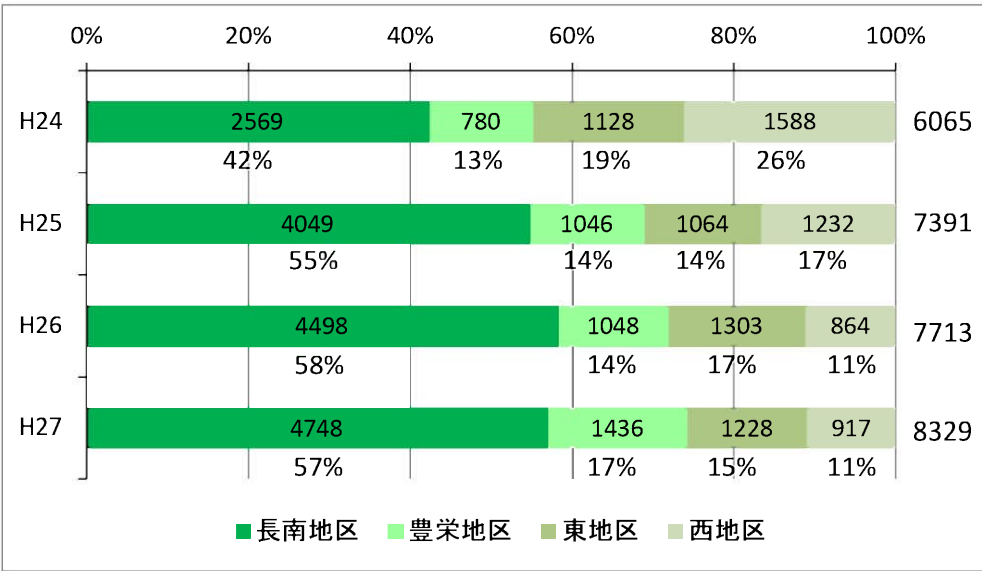


図 3-6-7 利用者数の地区別の構成

※割合は総数に対する構成率

集計期間：登録者数以外は4月～翌3月まで

・利用目的別

通院目的が最も多く、平成 27 年度で 4,178 人と全体の 50%を占めている。構成率の経年推移をみると、買い物とその他は増加、金融機関等は若干増加、通院と乗り継ぎは減少となっている。

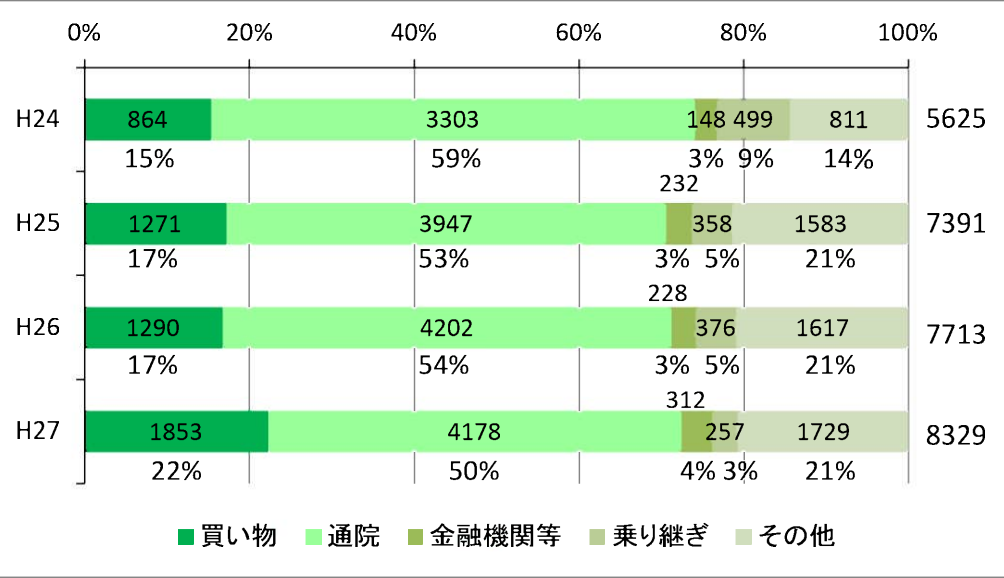


図 3-6-8 利用者数の利用目的の構成

・時間帯別

8 時 30 分からの利用が、平成 27 年度で 1,925 人と全体の 26%を占めている。次いで多いのは 10 時台、11 時台と午前中の利用が多くなっている。

構成率の経年推移をみると、8 時 30 分からの構成率が減少し、その一方で、12 時からの構成率が増加している。

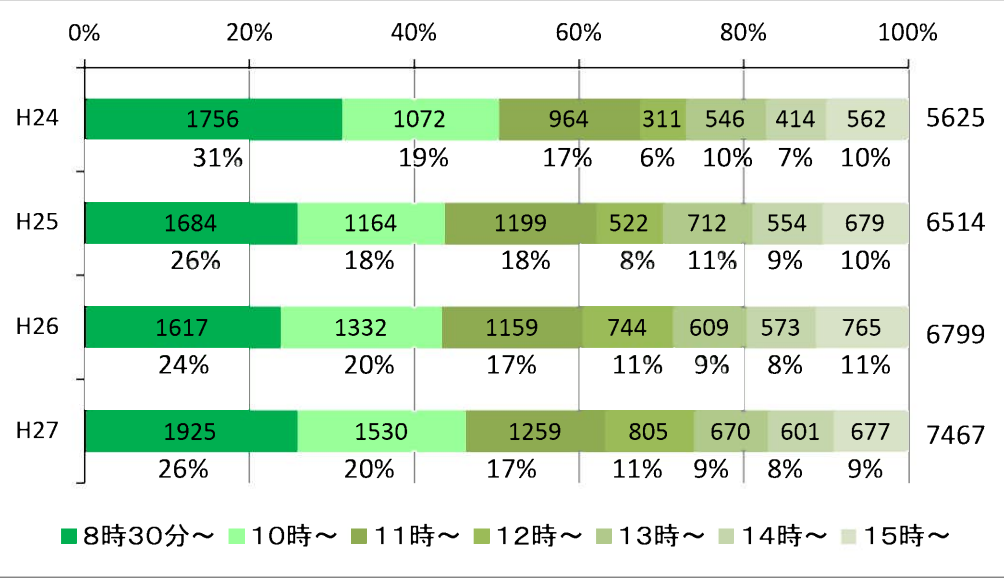


図 3-6-9 利用者数の利用目的の構成

・ペア割及び乗合利用の回数

ペア割の回数は経年でみると増加傾向にあり、平成 27 年度で 650 回となっている。乗合利用の回数は、平成 25 年度の 263 回をピークに減少している。

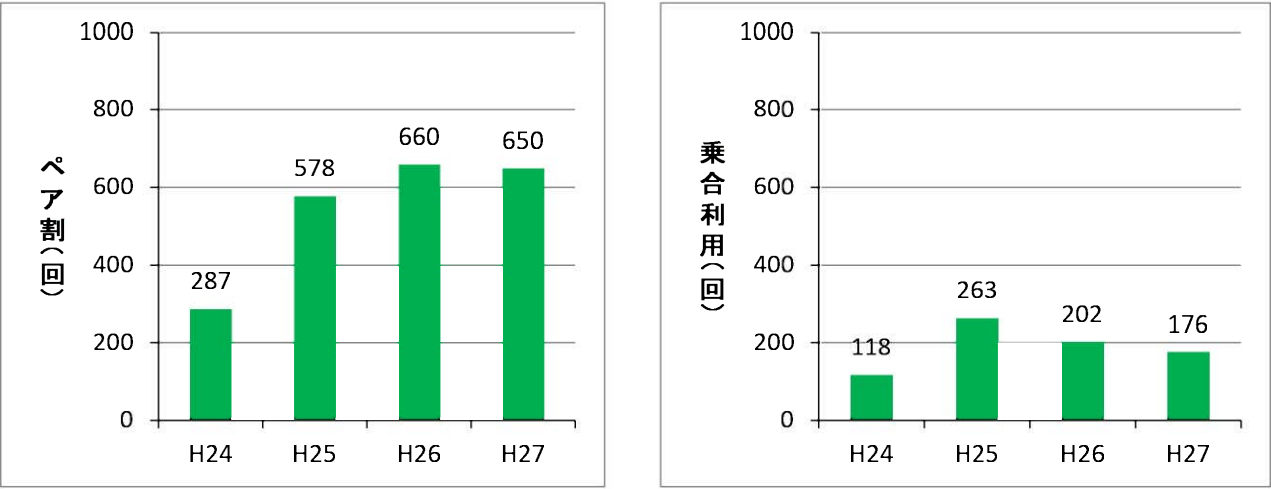


図 3-6-10 ペア割と乗合利用の回数

ペア割は平成 24 年 8 月より運用開始
乗合利用は平成 24 年 5 月より集計

④委託料及び利用料の推移

委託料及び利用料ともに増加傾向にあり、平成 27 年度でみると、利用料が約 390 万、委託料が約 956 万となっている。

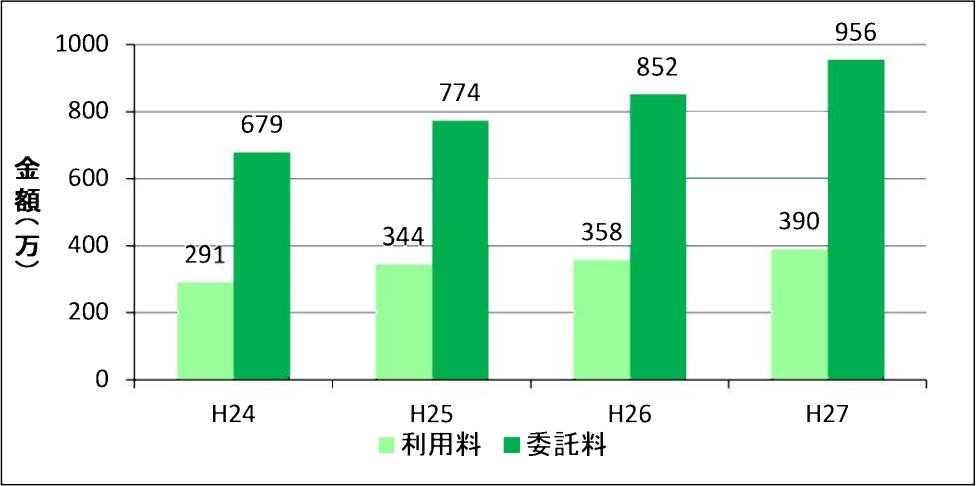


図 3-6-11 利用料及び委託料の推移

※割合は総数に対する構成率
集計期間：登録者数以外は 4 月～翌 3 月まで

(5) 巡回バスと乗合タクシーの利用実態のまとめ

①町全体での利用者数

乗合タクシー導入以降においては1万人以上で推移し、平成27年度は13,191人となっている。

また、平成25年度以降でみると、乗合タクシーは、巡回バスより利用者数が多くなっている。

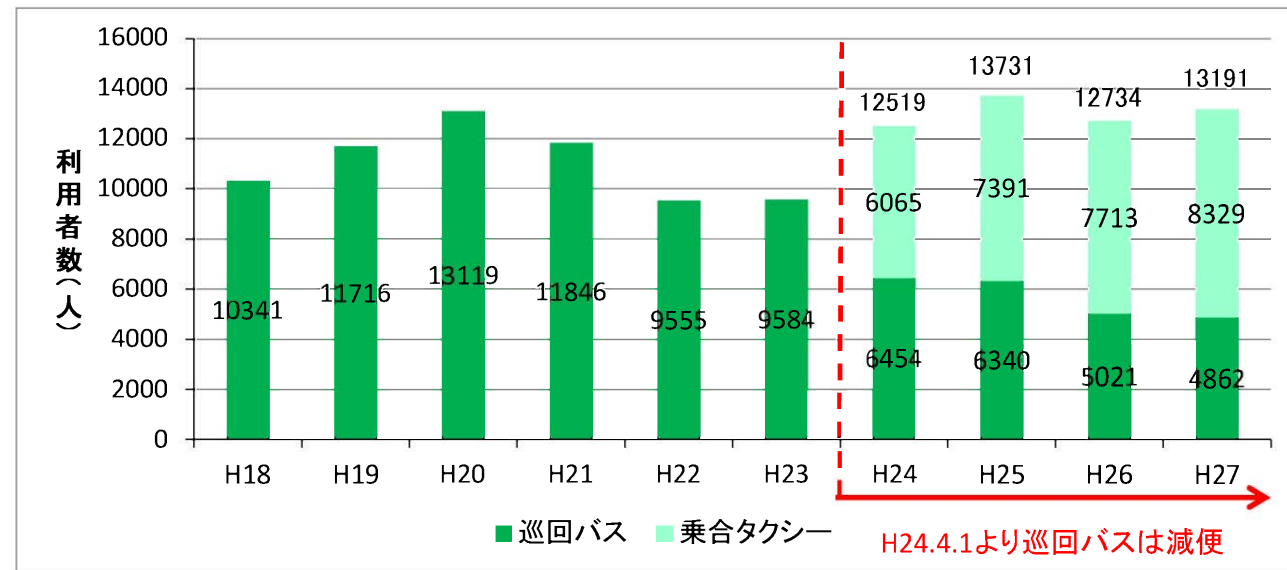


図 3-6-12 町全体の巡回バスと乗合タクシーの利用者数の推移

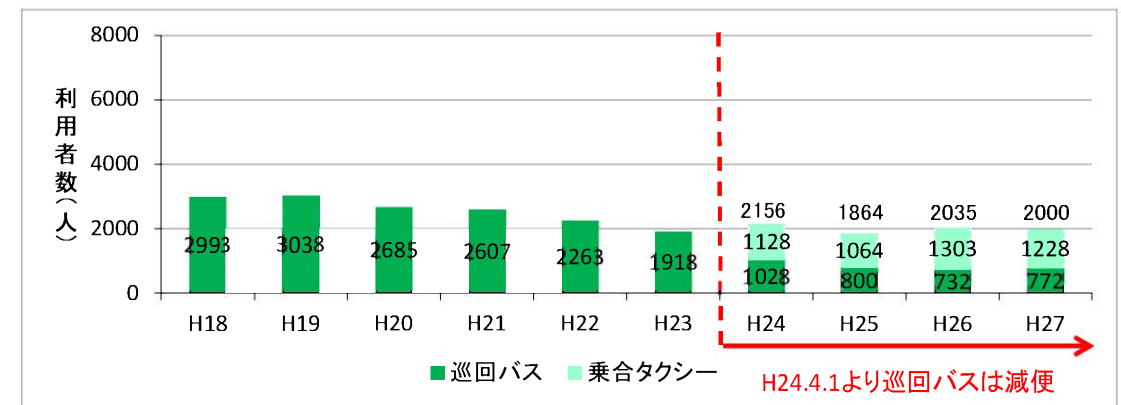
②地区別での利用者数

巡回バスと乗合タクシーの利用者数でみると、長南地区は平成27年度で5,137人と、乗合タクシー導入前の平成23年度の1,049人の約5倍となっている。また、豊栄地区も同様な傾向にあり、平成27年度で1,736人と乗合タクシー導入前の平成23年度の679人の約2.5倍となっている。

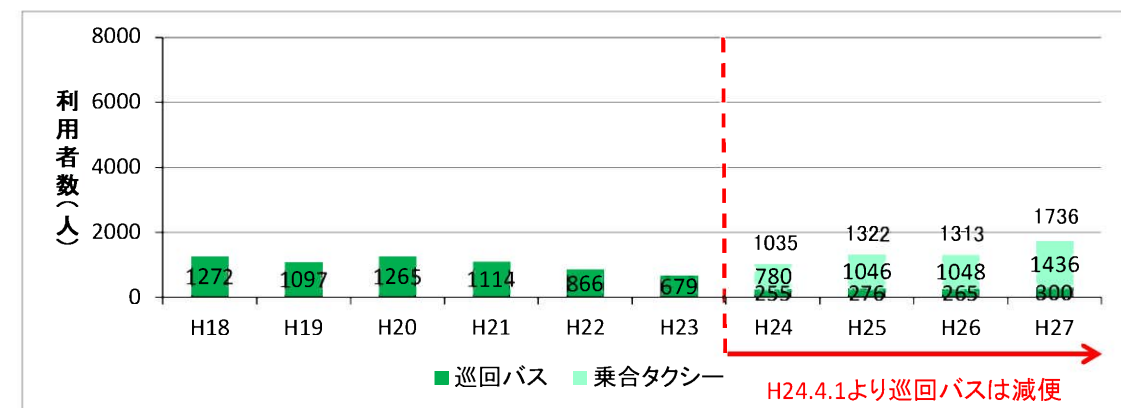
一方、西地区では、乗合タクシーの利用者が少ないため、平成27年度で4,318人と予約制乗合タクシー導入前より少ない状況となっている。

なお、東地区では、平成27年度で2,000人と乗合タクシーの導入前の平成23年度1,918人とほぼ同様となっている。

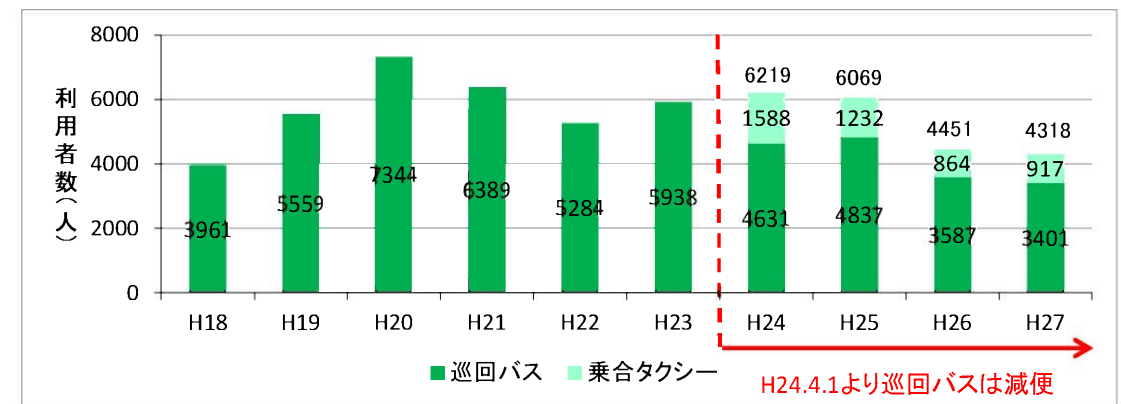
東地区



豊栄地区



西地区



長南地区

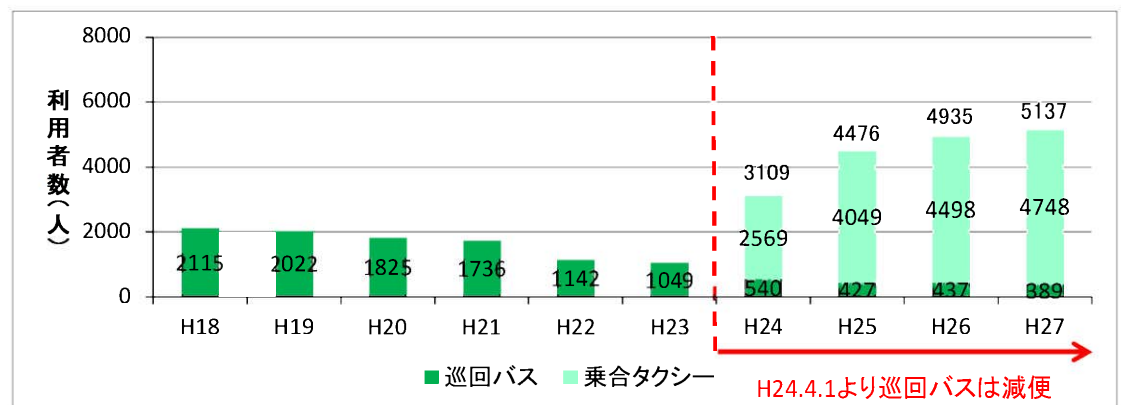


図 3-6-12 地区別の巡回バスと乗合タクシーの利用者数の推移

集計期間：4月～翌3月まで

③利用料と委託料

乗合タクシー導入以降は、利用料、委託料ともに増加傾向にある。
平成 27 年度の巡回バスと乗合タクシーの合計金額でみると、利用料が約 430 万、委託料が約 1,800 万となっている。

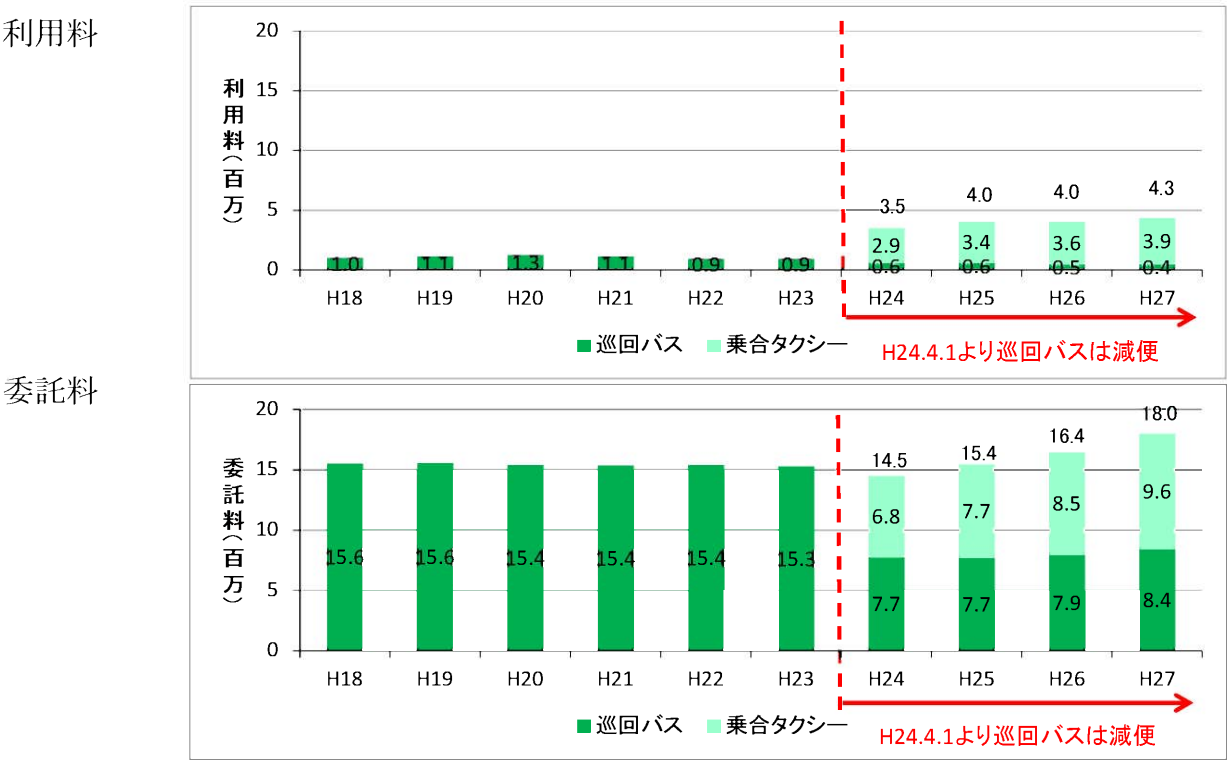


図 3-6-13 巡回バスと乗合タクシーの利用料と委託料

(5) タクシー

事業者 2 社がタクシーの営業を行い、合計 10 台の車両を保有している。利用者は、近年においては減少傾向にある。

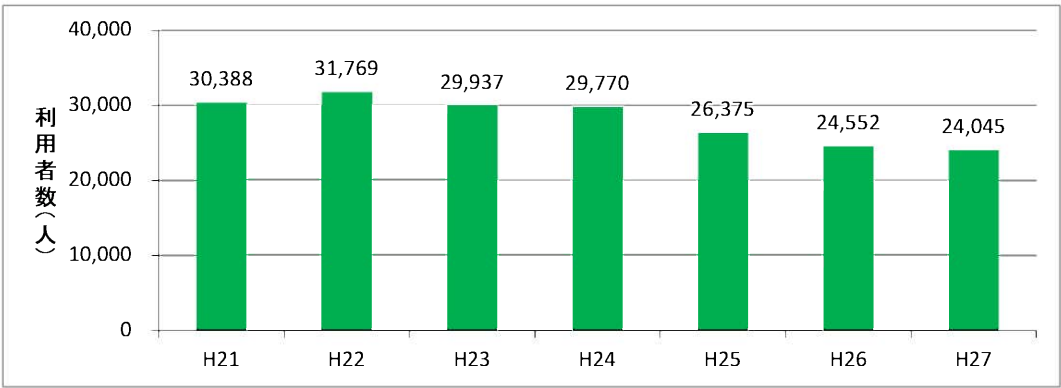


図 3-6-14 タクシーの利用者数の推移

集計期間：4 月～翌 3 月まで

3-7 日常生活での移動支援施策

(1) 福祉タクシー事業

町内に在住する身体障害者等が通院及び訪問などに当たり、タクシーを円滑かつ迅速に利用することにより、社会活動の範囲を広め、身体障害者の福祉の向上を図ることを目的として実施している。

表 3-7-1 福祉タクシー事業の概要		表 3-7-2 福祉タクシーの利用状況			
項目	内 容	年度	利用者数	件数	助成金
対象者	・身体障害者手帳 1 級、2 級、3 級の方 ・療育手帳 ㉠、㉠の 1、㉠の 2 A の 1、A の 2 の方	H22	26 人	190 件	189,020 円
		H23	21 人	184 件	182,590 円
助成の 範囲	・指定事業所のタクシーを利用した 場合に 1 回につき 1000 円を 助成する。 (1000 円未満のときはその額) ・1 ヶ月に 2 回が上限	H24	18 人	172 件	166,840 円
		H25	18 人	178 件	177,290 円
		H26	21 人	148 件	147,910 円
		H27	17 人	185 件	184,520 円

(2) 統合小学校開校に伴うスクールバスの導入

平成29年4月に、長南中学校に隣接させて小学校棟を建設し、小中一貫校を開校することに伴い、スクールバスを導入する。

表 3-7-3 スクールバスの運行概要	
項目	内 容
乗車対象	・統合小学校の児童 (中学生は不可)
バス台数	・大型バス (60 席) を 2 台 ・中型バス (42 席) を 2 台
経路・便数	・6 コースで、 朝の登校時に 1 便 下校時に 2～3 便
運賃	・無料
停留所数	・計 50 箇所程度

※予定のため、変更の可能性があります。



図 3-7-1 スクールバス運行予定位置図 (案)

4. 長南町の各種計画における公共交通の整備方針

(1) 公共交通網形成計画の位置づけ

本計画は、「長南町第4次総合計画」、「都市計画マスタープラン」等の上位計画との一体性を確保しつつ、子育て、障がい者福祉等に関する関連計画の施策方針との整合を図りながら、総合的なまちづくりの一環として公共交通に関わる事項を位置づける計画とする。

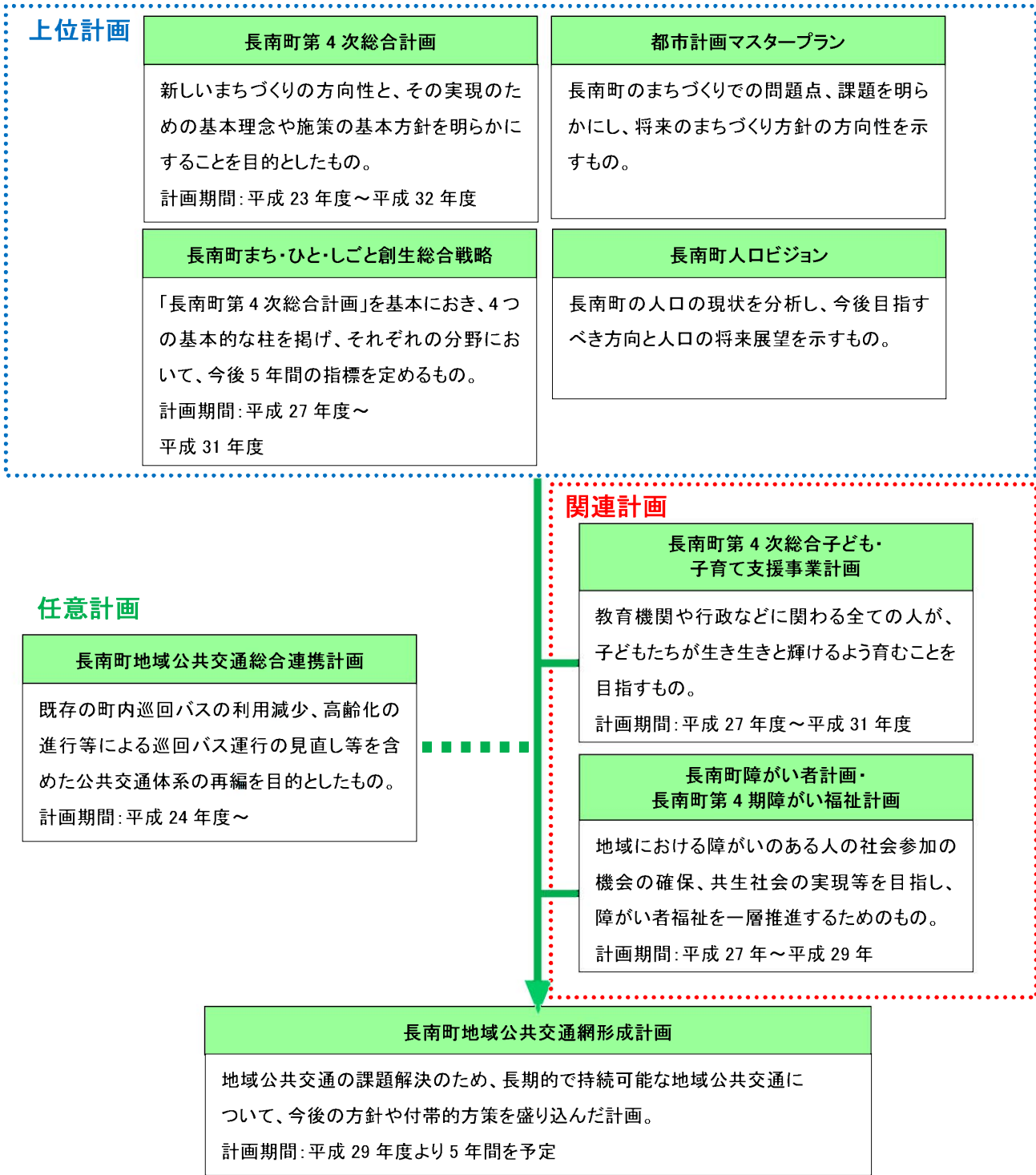


図 4-1 公共交通網形成計画の位置づけ

(2) 上位計画及び関連計画での公共交通整備のあり方

上位計画及び関連計画を整理した結果を踏まえると、地域公共交通は、巡回バス運行内容の見直し、道路環境の改良等の課題点が挙がっており、安全・安心で暮らしやすい町の実現のための生活基盤として位置づけられている。特に、障がい者、高齢者、小学生をはじめとする交通弱者の移動手段の改善は重要な施策として捉えられている。

表 4-1 上位計画及び関連計画での公共交通の整備内容

	計画名称	計画における公共交通の整備内容
上位計画	長南町第4次総合計画	・ 圏央道の整備効果を活用した広域的な交流促進と利便性を高める。 ・ 道路、高速バスなどによる交通網の充実を図り、安全で安心、快適で魅力的な長南町を目指す。
	都市計画マスタープラン	・ 「圏央道の整備効果の活用」、「高速バスによる新たな駅づくり」を課題とし、町の骨格をなすとともに、町と広域を結ぶ交通体系の基本構造の構築を目指す。 ・ 具体的には、「パーク＆バスライド」を提唱し、小湊バス車庫等の既存施設を活用し、周辺市町村も含めた広域定期的な利用圏を想定した「バスの駅」の充実、主要道路における歩行者の安全対策やバリアフリー化、自転車に対応した道路構造等をめざす。
	長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略	・ 4つの基本目標の1つ「確かな暮らしを実現する安心・安全な長南づくり」において、新公共交通システム運行事業、幹線道路の整備を掲げ、乗合タクシーや巡回バスの効果的な運用、曲線部が連続する道路の改良、歩道の新設、圏央道ICにアクセスする安全な道路への整備等をめざす。
	長南町人口ビジョン	・ 人口減少・少子高齢社会を迎えるなか、活力あるまちであり続けるため、安全・安心で、健康的に暮らしやすいまちの実現を図る。
任意計画	長南町地域公共交通総合連携計画	・ 「日常生活での満足度向上のための公共交通手段の提供」、「まちの産業活性化に寄与するための公共交通サービスの導入」、「公共交通の利用促進」を基本方針とし、巡回バスの運行における問題点と公共交通再編を図る。 ・ 具体的な事業として「デマンド交通の導入・運行」、「巡回バスの運行内容の見直し」等が挙げられている。
	長南町障がい者計画・長南町第4期障がい福祉計画	・ 交通機関などにおけるユニバーサルデザインの普及、障がい特性に応じた防災体制の確保など環境のバリアフリー化の促進を図る。
関連計画	長南町第4次総合子ども・子育て支援事業計画	・ 基本理念を「ひとりじゃないよ 未来に輝く 長南っ子」とし、小学生については、小学校統合後、通学にスクールバスが利用できるよう検討を進める。

5. 利用実態及びニーズ把握調査の実施について

(1) 過年度における公共交通に係る調査の実施状況

「長南町人口ビジョン」と「長南町総合戦略」の策定のため、平成 27 年 7 月に在住者、転入者、転出者を対象にアンケート調査を実施している。
アンケートは郵送による配布及び回収により行っている。以下にアンケート調査の概要を示す。
アンケート調査においては、公共交通に係る意識や満足状況を把握しているが、現状、町で運行している巡回バス、乗合タクシーの利用実態やニーズの把握は行っていない。

表 5-1 アンケート調査の実施状況

対象者	配布状況			回答者の年齢層			調査概要	公共交通の現状や今後の整備に対する意識
	配布数	回収数	回収率	10～30 歳代	40～50 歳代	60 歳代以上		
在住者	800 票	335 票	41.9%	20.0%	31.1%	48.9%	・属性 ・住みやすさ ・町の現状の今後の取り組み ・働くことについて ・転入について ・小学校の跡地利用について ・結婚、出産、育児について	・「町の現状の今後の取り組み」における「公共交通の利便性」に対する満足度と重要度 <u>満足度：13.5%</u> （満足しているとどちらかといえば満足しているの割合の合計） <u>重要度：54.0%</u> （重要であるとやや重要であるの割合の合計）
転入者	100 票	37 票	37.0%	70.2%	10.7%	18.9%	・属性 ・転入の理由	・居住者を増やすために取り組んだらいいと思う移住、定住支援策バスなどの町内を移動するための交通の利便性の向上： <u>29.7%</u>
転出者	100 票	37 票	37.0%	83.8%	13.5%	2.7%	・属性 ・転出の理由 ・住みやすさについて	・長南町が住みにくかった感じる点 交通の利便性： <u>83.8%</u> ・居住者を増やすために取り組んだらいいと思う移住、定住支援策バスなどの町内を移動するための交通の利便性の向上： <u>48.6%</u>

(2) 利用実態及びニーズ把握調査の実施について

町で運行している巡回バス、乗合タクシーの運行の更なる改善においては、利用実態及び利用者と非利用者のニーズ把握が必要である。
以下に利用実態及びニーズ把握調査の実施内容の案を示す。

表 5-2 利用実態及びニーズ把握調査の実施内容（案）

実施目的	対象者	調査内容	調査方法	サンプル数の想定
・利用実態の把握	・巡回バスと乗合タクシーの利用者	・属性（性別、年齢、住所 等） ・利用理由 ・利用目的 ・利用する際の行き先 ・運行サービスに対する満足状況 ・その他公共交通全般に対する意見	・利用時にアンケート票を配布（月曜～金曜の 5 日間で 1 回配ったら対象外） ・郵送による回収	・巡回バス※ ¹ 約 50 人 ・乗合タクシー※ ¹ 約 50 人
・ニーズの把握	・65 歳以上の高齢者	・属性（性別、年齢、住所 等） ・巡回バス、乗合タクシーの運行の認知状況 ・巡回バス、乗合タクシーの利用理由、利用しない理由 ・巡回バス、乗合タクシーの利用状況 ・運行サービスに対する満足状況 ・その他公共交通全般に対する意見	・65 歳以上の方が居住する世帯（約 1,800 世帯※ ² ）から無作為に抽出し、900 世帯に配布 ・郵送による回収 ・65 歳以上の高齢者かまたは世帯主が回答	・回答率を 40%と見込むと 360 人※ ³

※1 平成 28 年 3 月の利用者数（巡回バスの大人 225 人 乗合タクシー 234 人）から想定（平日日数 22 日とすると、1 日平均 10 人）
※2 65 歳以上の世帯員がいる世帯数は、平成 22 年国勢調査で 1,887 世帯
※3 ニーズの把握での回収率は、長南町地方創生に関するアンケート（平成 27 年 7 月）での回収率の実績値（41.9%）を踏まえ設定した。
なお、その場合に得られるサンプル数（360 人）は、信頼度 95%、標本誤差 5%とした場合の統計学上の必要サンプル数（約 320 件）を上回る状況となる。